

経済建設委員会 行政視察概要

【 三重県 多気町 】

- 1 日 時 令和6年10月1日（火）午後2時30分～午後4時
- 2 場 所 三重県多気町（多気町役場）
- 3 視察事項 広域連携による観光施策及びまちづくりについて
- 4 参加者 委員長 宮崎 保 副委員長 牛塚 孝浩
委員 大塚 則男 委員 田中 哲
- 5 内 容

三重県多気町では、魅力ある地域資源の活用による地域の活性化や人々が住みたくなる健康で安心なまちづくりを目指し、多気町（たきちょう）・大台町（おおだいちょう）・明和町（めいわちょう）・度会町（わたらいちょう）・紀北町（きはくちょう）の5つの町で、三重広域連携DXプラットフォーム構築事業に取り組まれています。

また、令和3年に開業した複合リゾート施設VISON（ヴィソン）を最大限活用し、5町を一つのエリアとする「美村（びそん）」としてブランド化し住民と観光客にとって魅力的な地域づくりの取組を行っておられます。

6 ま と め

広域連携で取り組んでおられるデジタル通貨があったので、本市でも広域化できる要素があると思う。VISONは、年間600万人の入場者を想定されているが現在300万人で1日あたり1万人の集客で効果があっている。しかし、平日の来客や地元の方、子供が少なかったように感じたので、アミューズメント関係の施設が必要ではないかと感じた。電気自動車の自動運転の実証実験も行われており、本市でも今後の人手不足、公共交通の空白化、などもモデルとして活用できればとの意見がありました。



経済建設委員会 行政視察概要

【 三重県 桑名市 】

- 1 日 時 令和6年10月3日（木）午前9時30分～午前11時
- 2 場 所 三重県桑名市（桑名市役所）
- 3 視察事項 竹資源を活用した地域内循環の取組
- 4 参加者 委員長 宮崎 保 副委員長 牛塚 孝浩
委員 大塚 則男 委員 田中 哲
- 5 内 容

放置竹林問題を解決するために、企業、NPO法人桑竹会、大学などにより「桑名竹取物語事業化協議会」を令和3年に設立し、伐採した竹を建材に活用したり、粉碎機で粉状にして土壌改良剤として使用されています。

また、桑名工業高校の授業に竹林整備・環境教育を取り入れてもらい、次世代の担い手育成にも取り組まれています。

6 ま と め

事業内容は行政主導というより民間のNPO法人で行われており、副産物として、竹水による化粧品化、ボールペン及び集成材などの加工品等、実用化されています。学校の授業の中でも地域内循環に取り組まれているので、教育部とも連携しながら行っていけば少し意識も変わってくるのではと思ったなどの意見がありました。

